



ご存知でしたか。LPガス販売店では、ご家庭と同じようにさまざまな保安サービスを行っています。

- LPガス容器からガスメータの出口までは供給設備と呼ばれ、LPガス販売店が責任を持って点検と維持管理を行います。
- ガスメータの出口からガス器具までは消費設備と呼ばれ、法律上の管理責任は業務用消費者の皆さまにあります。日常の点検・維持管理は普段LPガスを使っている皆さまで行ってください。

LPガス販売店が行う保安業務

LPガスを安全にお使いいただくために定期的に周知・点検・調査の保安業務を行っています。認定を受けた保安機関にLPガス販売店が委託している場合もあります。LPガス販売店または保安機関が訪ねた時はご協力ください。



周知

業務用厨房の使用上の注意点や事故を起さないための情報などを定期的に文書でお知らせします。

年1回
(または2年に1回)
行います。

緊急時連絡と緊急時対応

業務用厨房でのガス漏れなどの時、すみやかに対応します。

緊急時は
30分以内に
無料対応

緊急時の
連絡先は
夜間・休日
も対応

供給開始時点検・調査

業務用厨房のガス器具も含めたLPガス設備全体の点検・調査を行います。

供給開始時
に行います。

容器交換時等供給設備点検

容器の転倒防止の確認など、バルク・容器周りの点検を行います。

容器の
交換時に
(または月1回以上)
行います。

定期供給設備点検

ガス漏れの有無など、調整器からガスメータの供給設備の点検を行います。

4年以内に
1回行います。

定期消費設備調査

業務用厨房のガス器具、給排気、ホース、配管などの消費設備の調査を行います。

4年以内に
1回行います。

◎これらの「保安業務」は無料で行います。ただし「消費設備」の修理や改善が必要な時は有料となります。

LPガス安全委員会ホームページでも詳しい情報をご覧ください。<http://www.lpg.or.jp/>

LPガス緊急時の連絡先

LPガス販売店名

保安機関名

電話：

緊急時の連絡先は24時間無料で対応しています。

●不明点やお困りの時は、LPガス販売店へお気軽におたずねください。

活用版

安全・安心に お使いいただくために



厨房で働く
皆さまの目の付く
ところに置いて
ください。

LPガスをご使用の皆さまへ —— 業務用厨房事故について



ご注意

ここ数年、業務用厨房事故が増加の傾向にあります。業務用厨房での事故発生は従業員だけでなく第三者(お客さま)にも被害を与える可能性が高く、徹底した保安意識の向上が求められています。

《ガス漏えい・ガス爆発》

未点火、誤開放、立ち消えによるもので、とくに業務用厨房機器には一般家庭用とは異なり、立ち消え安全装置が付いてないものが多く注意が必要です。

《一酸化炭素(CO)中毒》

換気扇をまわさない、給気口をふさぐなど、給排気不良により有毒なCOが発生し、死亡事故が発生しています。業務用では燃焼量が大きくかつ長時間使用するため、使用時の換気確認が必要です。



ガス臭いと感じたら、その時の対応は！

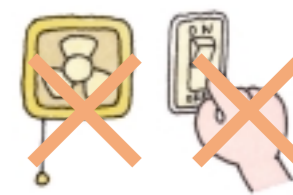


危険

火気は絶対使用しないでください。

- 着火源となる裸火、換気扇、電気などのスイッチにも絶対手を触れないでください。
- 電気のスイッチは切る時にも火花がでます。切ることもしないでください。

火気厳禁



戸や窓を大きくあけてガスを外に追い出して。

- LPガスは空気より重いので、低いところに溜まったガスにもご注意ください。



すべての器具栓、ガス栓を閉めて。

- ガスメータバルブか容器バルブは必ず閉めてください。



◎ガスメータバルブの位置がわからない時は、あらかじめLPガス販売店に確認してください。

ガス漏れの状況をすぐに連絡してください。



「緊急時の連絡先」または「LPガス販売店」への連絡手順

- お店の名前
- ご住所
- その場の状況
- 営業中・お客さまの有無

LPガス販売店の指示に従ってください。

◎避難するよう指示があったら、お客さまの避難誘導をしてください。

◎緊急時の連絡先は、あらかじめLPガス販売店に確認してください。(緊急時の連絡先は、24時間無料で対応しています。)



日々、皆さまに行っていただきたい 「安全チェックのポイント」!

安全装置の付いてないもの、燃焼が見えにくいものはとくにご注意ください。

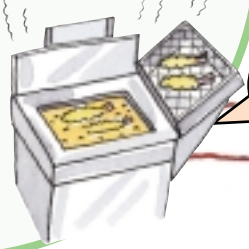
✓ 点火の確認

- ✓ 点火の繰り返し・再点火
- ✓ 立ち消え
- ✓ 器具栓の閉め忘れ

- 点火を確認しない事故が発生しています。必ず目で確認!
- 使用後も器具栓がしっかりと閉まっているか確認!



- 点火操作を繰り返して、器具に溜まったガスに引火する事故が発生しています。再点火する時は、とくに注意してください。
- 煮こぼれ・風で火が消えることがあります。その場を離れず、目で確認してください。
- 燃焼器が老朽化したり、故障したりしていないか注意してください。



燃焼が見えにくいものは、とくに注意してください。

✓ ゴムホース(ゴム管)は

- 焼けこげやヒビ割れができていないか!
- 清掃や点検などを行った後にガス栓、器具栓の赤い線まで差し込まれているか!
- ホースバンドでしっかり止まっているか!



✓ 換気の確認

- 換気扇を回さないことによる一酸化炭素(CO)中毒事故が多く発生しています。
- 仕込み中や開店時に換気扇が回っていることを必ず確認!



⚠ 一酸化炭素(CO)中毒とは!

燃焼機器は空気(酸素)が不足したままで使用していると不完全燃焼を起こし、一酸化炭素が発生します。一酸化炭素は毒性がとても強く少し吸い込んだだけでも、頭痛・吐き気、死にいたる危険性があります。

✓ 給排気口の確認

- 業務用ガス器具は、正しく燃焼するために多量の空気を必要とします。
- 給気口が荷物でふさがっていないか確認!



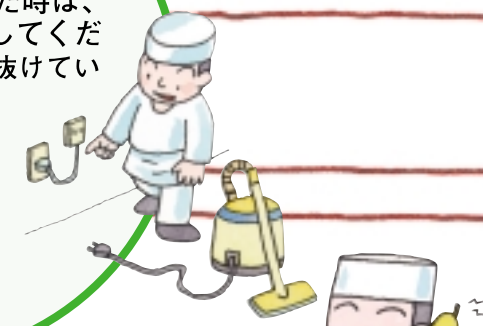
✓ ガス使用時の引き継ぎ

- ガス使用中に交代する時は、あとの方に状況を伝え引き継ぎを行ってください。



✓ CO警報器は ✓ ガス漏れ警報器は

- 清掃などで取り外した時は、電源を必ず元通りにしてください。(コンセントが抜けていないか)
- 警報器の交換期限を確認してください。
- ガス器具も清掃後は元通りに!(器具栓・ガス栓を閉める)



お店を出る時は ✓ ガス栓が閉まっているか指差し確認をお願いします。またガス器具も清掃後は元通りに(器具栓・ガス栓を閉める)。

ガスが突然止まったら

LPガスの流れや圧力などに異常があると、ガスメータ(マイコンメータSやSB)が自動的にガスをしゃ断し、原因が表示されます。

長時間の使用又は消し忘れた時



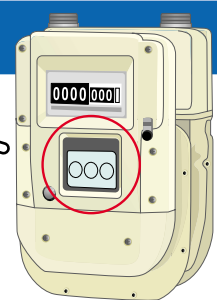
地震が発生した時



ガスの圧力が低下した時



ゴム管などがはずれた時



復帰の方法

■ ガス利用の再開は、次のような手順で行ってください。

- かならず「緊急時の連絡先」か「LPガス販売店」に連絡し指示にしたがってください。
- 異常がなければ、マイコンメータを復帰することができます。
- 復帰しない場合は、復帰を繰り返さずLPガス販売店の点検を受けてください。

1

● 器具栓、ガス栓を全て閉めてください。

2

● 左側のスイッチを押してください。
● 「ガス止」の文字が消えます。

3

● 液晶の文字と赤ランプが点滅します。
● 1分間お待ちください。(2分間のものもあります。)

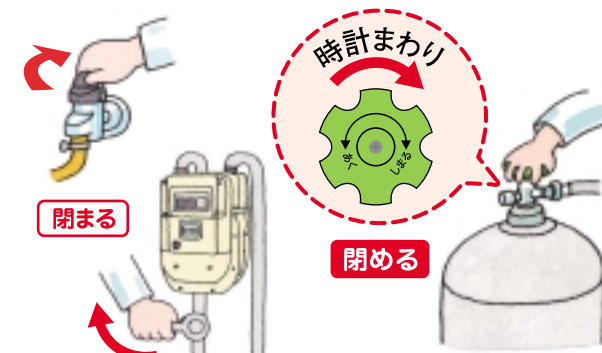
4

● 液晶の文字と赤ランプが消えます。
● 復帰完了です。
● 開栓してお使いください。

※「赤ランプ」は、液晶のものもあります。

地震・火災・洪水が起きたら

- 器具栓、ガス栓、ガスメータバルブ及び容器バルブを閉めてください。



- 災害後にLPガスを使用する時は、LPガス販売店に連絡し点検を受けてから使用してください。

お願い 災害後はLPガス販売店が順次点検を行います。連絡が取れない場合でも点検を受けるまで使用しないでください。

✓ こんなときは すぐに連絡を!

LPガス販売店か器具メーカーに、すぐ点検を依頼してください。

- 炎**
 - 炎が安定しない
 - 炎が黄色い
 - 炎が赤い
- 操作**
 - 使用中に消火した
 - 爆発的に着火する
 - 火移りにくい
 - 点火しにくい
 - 点火しない
- 器具**
 - 異常音をたてて燃える
 - ガスの臭いがする
 - 運転中に排気ガスの臭いがする